



元気な御所を創る

奈良県議会議長

川口正志

かわぐち しょうし

県政報告

2018年
12月号

川口正志事務所

〒639-2244 御所市柏原273
TEL.0745(62)0123 FAX.0745(62)5511



奈良県議会南部振興議

「二にも、二にも、三にも御所」

県議10期、南和振興をリード

県議会議長の川口正志は、10期目の県議会活動の中で党派や会派を超え、志を同じにする仲間と共に県庁の南和移転を求めるなど、「県政の均衡した発展には、南和、東和地域の振興は不可欠」との政治姿勢で取り組み、また「二にも、二にも、三にも御所を政治信条に御所市発展のための施策を県政に届けるなど、提案を続けてまいりました。今期の私の県議会活動のうち、特に注力した南和振興の施策についてご報告いたします。

「均衡ある県土の発展のため」「還都」南和に県庁移転を

奈良県の地勢は南北に長く、明治20年の奈良県設置から県最北部の奈良公園内に県庁が所在。北高南低と言わ

れる地域格差は埋まることなく、ますます広がりを見せています。

今年の3月、県議会において、党派や会派を超え、私を中心となって「奈良県庁の橿原市周辺への移転を求める決議」を賛成多数で決議いたしました。奈良県が持続的に

3度目、節目の年に県議会議長へ就任

平成最後の任期、また私の県議10期目の節目の年に、第99代県議会議長に選任をいただきました。より開かれた、透明性のある県議会にしていくことを県民の皆さまにお約束し、これに取り組んでいます。

また南和地域の御所市選出の県議として、南和、東和地域の課題、とりわけ交通インフラ、働く場所作り、工業誘致などに力を入れております。

奈良県は今、各市町村と共にさまざまな地域の課題を解決していく「県と市町村のまちづくり」を進めています。県が知的支援、また財政支援を行い、各市町村と共に取り組んでいくもので、私の政治スタンスの「南和、東和地域の振興」がより一層進むものと期待をしている次第です。

発展し、県民の豊かな暮らしを生み出していくためには、投資、消費、雇用を好循環させていく必要があります。その起爆剤として県庁を橿原市周辺へ「還都(かんと)」する移転を提案したものです。

「県と御所市の協働でまちづくり

御所市でも持続的発展や活性化に向けたまちづくりを目的に、県との包括協定を結び中心市街地で、空き店舗対策、まち歩き観光ルートの整備、新たな観光メニューの開発などに取り組んでいます。

近鉄、JRの御所駅のエリアでは駅前複合施設、駅前広場の整備を行う予定です。歴史、文化が香り伝統的

「県議会「政務活動費」を廃止する議員提案

奈良県議会の政務活動費(年間360万円)の廃止を求め、署名活動に賛同をいただいた御所市内3125

人の皆さまに心より御礼を申し上げます。頂戴した署名を受け、廃止に賛同する6人の議員とともに県議会の9月定例会で議員提案を行いました。賛成少数で残念ながら否決となってしまいました。

廃止は否決となりましたが、私の県議会活動において、政務活動費の交付は引き続き私的に辞退いたします。県民市民の皆さまにご報告を申し上げます。報告を申し上げます。ご賛同のご協力を重ねて御礼申し上げます。

移転の手続きは、県議会の3分の2の賛成が必要になってきます。県議会の定数は次回選挙から43議席になります。人口の多い北和(奈良市・山辺郡、生駒市、大和郡山部)だけで3分の1以上の議席を持っています。私は南和地域の市町村、市町村議会が、移転を望む声を県政に届けていく必要がある、と思っています。また世論が広がっていくよう南和地域の県議会議員が

「県土の均衡な発展」に向けて一つになることが重要だと考えています。南和の思いを一つにしていくためには、党派や会派の壁を打破しなければなりません。御所市選出で県議会最古参の私の使命と考え、引き続きこの県庁の南和移転のリーダーシップを取り、南和地域の県議、市町村議のコンセンサスを得ていく活動に尽力したいと思います。

いて楽しむことのできるようルート整備を行います。御所駅から立ち寄りやすさを得ないような魅力的なまちづくりを共に進めていきます。